

教科	芸術	科目	日本画に親しむ	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		基本が身につく 初歩からの水墨画（日貿出版社）					

学習 目標	(1) 日本画の制作や鑑賞などの活動を通して、日本の四季折々の変化や美しい景観などに感動する豊かな心を養います。 (2) 日本画の制作活動を通して、感性を磨き、幅広い表現力を身に付けるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てます。	
評価の 観点	① 知識・技能	日本画の作品や日本画独自の遺産・文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。また、日本画独特の表現方法を習得しようとする態度が身に付いている。
	② 思考力・判断力・ 表現力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。
	③ 学びに向かう力・ 人間性等	日本画の美術文化を尊重し、主体的、創造的に日本画の学習に取り組もうとしている。
評価の 方法	制作した作品だけでなく、授業態度や参加姿勢などから総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 筆運びと調墨	・点と線で描画することで筆の扱いに慣れるとともに、筆の持ち方や姿勢といった基本を学びます。また、三墨法を習熟することで、調墨の基本を習得します。
	2 水墨画の基本描法	・水墨画で使われる直筆と側筆と呼ばれる描法の基本を習得します。
	3 作品制作Ⅰ	・基本的な描法を用いて、作品を制作します。また、他者の作品を鑑賞することを通して、水墨画の描法に対する理解を深めます。
後期	4 水墨画の応用の描法	・潤筆と渴筆、割筆と破筆という描法を習熟し、より変化のある表現方法を学習します。
	5 作品制作Ⅱ	・文化祭に出品する作品を制作します。
	6 日本画における色と墨の効果	・描く対象により色を用いることで、墨で表現できない描法を学習します。また、日本画の色と墨の調和について考えます。
	7 作品制作Ⅲ	・様々な描法を使った作品を制作します。また、他者の作品を鑑賞して感想を発表します。